令和７年度　道徳教育全体計画

江田島市立大柿中学校

【生徒の実態】
○他の生徒と協働しようとする姿が見られる
○自己の生き方について考えを深められている。
○積極的に貢献活動をしている。
○「自分に良いところがある」という実感を持ちにくい生徒が多い。
○自らの考えを表現する力を育成する必要性がある。

【保護者の願い】
○基礎的･基本的な知識及び技能の定着
○思考力、判断力、表現力の育成
○健康で安全な生活

生徒指導
○行動三原則の徹底指導を行う。
○貢献活動を通して、生徒の自己有用感を高める。
○規範意識をもたせ、主体的・自律的に行動できる生徒を育成する。
○学校、家庭、地域の一貫した指導体制の充実を図る。

学校教育目標

「誠」を校訓として、
人間性豊かな、たくましい生徒の育成につとめる
～「時を守り」「場を清め」「礼を正す」～

研究主題

自己の生き方を追求する子どもたちを育む道徳教育の創造
～道徳教育プログラムの実践を通して～

・日本国憲法
・教育基本法
・学校教育法
・学習指導要領
・江田島市教育行政施策の方針

社会の情勢
生涯学習の視点

道徳教育の重点目標
○自己について内省（自己理解）しつつ、自己の生き方について考える力を育み、道徳性を養う。
○困難な状況に遭遇しても心が折れず、自己の認識を深め、人生を選択し、自己実現を図ろうとする態度を育成する。

[全学年共通]
A　主として自分自身に関すること　希望と勇気、克己と強い意志【A-（４）】
○より高い目標を設定し、その達成を目指し、希望と勇気をもち、困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げること。
B　主として人との関わりに関すること　相互理解、寛容【B-（９）】
○自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解し、寛容の心をもって、謙虚に他に学び、自らを高めていくこと。

第１学年　重点目標
○友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高めあうとともに、異性についての理解を深め、悩みや葛藤も経験しながら人間関係を深めていくこと。
友情、信頼【B－（８）】

第２学年　重点目標
○自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求すること
向上心、個性の伸長【A－（３）】

第３学年　重点目標
○人間には自らの弱さや醜さを克服する強さや気高く生きようとする心があることを理解し、人間として生きることに喜びを見いだすこと。
よりよく生きる喜び【D－（２２）】

特別の教科　道徳の指導方針
よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。
○学校行事等との関連を図った道徳教育の指導内容の充実を図る。
○生徒指導の実践上の視点を生かした道徳の授業をつくる。
○自己を見つめ、内省することができる場を設定する。
○集団思考により、多様な価値観を認める場を設定する。

各教科
○課題発見・解決学習を重視し、生徒の興味・関心を生かして主体的な学習を促進する。
○生徒一人一人の個性、能力に応じた指導の展開に努めるとともに、仲間と協力し、共に高め合う学習態度の育成に努める。

特別活動
集団活動を通して、心豊かな人間関係や社会性などを実践的に身に付ける。
○学級活動
規範意識をもたせる。自己肯定感や自己有用感を与える。
○生徒会活動
責任をもって役割を果たし、よりよい活動になるよう改善していく態度を養う。
○学校行事
道徳的価値の自覚を深める体験とする。

総合的な学習の時間
○自ら課題を見付け、判断し、主体的に解決する資質や能力を育成する。
○より高い目標を設定し、その達成を目指し、希望と勇気をもち、困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げること。
○社会参画の意識と社会連帯の自覚を高め、公共の精神をもってよりよい社会の実現に努めること。

地域社会との連携
地域社会の道徳教育上の問題を明らかにし、課題解決の方法について考えさせていく。
○地域の良さを感じる地域教材の活用　○公開授業及び保護者一体の授業　○学校外での生徒の活動（地域貢献）